

各位

2019年11月20日
公益財団法人 SBI 子ども希望財団

「子育て支援フォーラム in 三重 ～子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」 開催のお知らせ

公益財団法人 SBI 子ども希望財団（所在地：東京都港区、理事長：田淵 義久、以下「当財団」）は、公益社団法人日本医師会、公益社団法人三重県医師会と共同で「子育て支援フォーラム in 三重～子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

記

「子育て支援フォーラム in 三重」開催概要

日時： 2019年12月14日（土）14:40～17:00

場所： 三重県医師会館 2階大ホール
三重県津市桜橋 2-191-4

参加費： 無料（先着 300名）

プログラム概要：

基調講演： 「すべての親子が常若（とこわか）に輝く“三重”をめざして」
座長：松本 純一（三重県医師会長）
講師：鈴木 英敬（三重県知事）

シンポジウム： 1 「子育てと子育て支援」
金井 剛（三重県立子ども心身発達医療センター長）
2 「虐待を受けた子どものこころ」
田中 究（兵庫県立ひょうごこころの医療センター院長）
3 「今日の子ども家庭と新たな社会的養育の現状と課題」
加賀美 尤祥（社会福祉法人山梨立正光生園理事長）

詳しいプログラム、ご参加申込方法等は、別添資料もしくは下記よりご覧ください。

【子育て支援フォーラム in 三重～子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～】

https://www.med.or.jp/people/info_event/seminar/008935.html

本フォーラムでは、増え続ける児童虐待について「社会全体としてどう取り組んでいけばよいか」というテーマを掲げており、児童虐待の現状をご理解いただくと共に、次世代の健全な育成を目指すという観点からも広く一般の方にもご参加いただきたいと考え、2011年より毎年全国各地で開催し、多くの方にご参加いただいております。

当財団では、今後も、子どもたちが自分の可能性を追求し、将来立派に自立していけるような支援活動を目指し、子どもたちの入所施設の改善・充実はもちろんのこと、子どもたちの育成にも焦点を当てた活動を展開してまいります。

【公益財団法人 SBI 子ども希望財団 概要】

SBI 子ども希望財団は虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子どもたちの福祉向上を目的に2005年10月に、SBIグループの社会貢献活動を行う財団法人として設立され、2010年3月に公益財団法人へ移行しました。児童福祉施設等への寄付や児童養護施設の職員を対象とした研修、施設退所後の子どもたちの自立支援のほか、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止啓発活動も積極的に行っています。

SBI 子ども希望財団のホームページ：<https://www.sbigroup.co.jp/zaidan/>

以上

【お問い合わせ先】

本プレスリリースについて：

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

子育て支援フォーラム、SBI子ども希望財団の活動について：

公益財団法人 SBI 子ども希望財団 03-6229-1003

子育て支援
フォーラム

in 三重

子育て支援とゼロ歳児からの 虐待防止を目指して

子どもたちの 笑顔を守る。

そのためにできることがあります。



児童虐待は依然として増加傾向が続き、大きな社会問題となっております。特に死亡児の低年齢化、中でも0歳児に集中していることが明らかになり、虐待による子どもの死亡を予防するためには従来の早期発見・早期対応に加え、その発生を予防する取り組みが必要です。そのためには、妊娠・出産・子育てに対する具体的対応を含め、社会全体で取り組む必要があります。次世代の健全な育成という視点から、一般市民等を対象としたフォーラムを開催し、児童虐待防止に向けた啓発活動、情報提供を行います。

石立ゆきな
2019年度 オレンジリボン
公式ポスターコンテスト
SBI子ども希望財団賞受賞作品

参加費 無料

定員 300名

日時

令和元年 12月14日(土)
14:40-17:00

場所

三重県医師会館
2階大ホール

※事前のお申し込みで託児施設がご利用いただけます。
[託児申込締切: 令和元年11月29日まで]

主催

公益社団法人日本医師会
公益財団法人SBI子ども希望財団
公益社団法人三重県医師会

後援

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本小児科医会、三重県、三重県教育委員会、三重県産婦人科医会、三重県小児科医会、一般社団法人三重県病院協会、公益社団法人三重県歯科医師会、一般社団法人三重県薬剤師会、公益社団法人三重県看護協会、一般社団法人三重県助産師会、三重県精神科病院会、三重県学校保健会、三重県小中学校校長会、一般財団法人三重県母子寡婦福祉連合会、中日新聞社、三重エフエム放送株式会社、三重テレビ放送、認定NPO法人チャイルドヘルプラインMIEネットワーク、特定非営利活動法人三重県子どもNPOサポートセンター、全国児童養護施設協議会、全国母子生活支援施設協議会、全国乳児福祉協議会、他

参加ご希望の方は、裏面の申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。

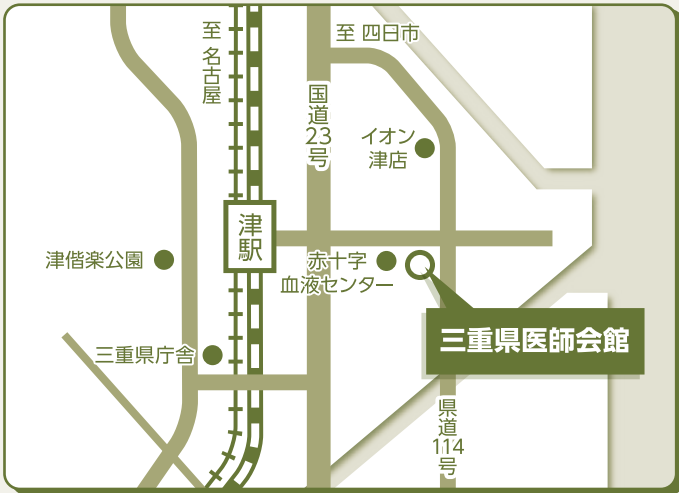
子育て支援フォーラム in 三重

～子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～

日時：令和元年 **12月14日(土)**
14:40～17:00

場所：三重県医師会館 2階 大ホール
 〒514-8538 三重県津市桜橋2-191-4
 TEL：059-228-3822

◆電車…紀勢本線・近鉄名古屋線「津駅」から東へ750m(徒歩約10分)。
 ※当日は、駐車場が混雑しますので、公共交通機関をご利用ください。
 (三重県医師会館東側商業施設及び周辺賃貸駐車場には絶対に駐車しないでください。)



プログラム

司会：二井 栄(三重県医師会副会長)

1. 開 会 14:40
2. 挨拶 14:40～14:50
 横倉 義武(日本医師会会長)、松本 純一(三重県医師会会長)
3. 基調講演 14:50～15:30
 座長：松本 純一(三重県医師会会長)
 「すべての親子が常若(とこわか)に輝く“三重”をめざして」
 講師：鈴木 英敬(三重県知事)
4. シンポジウム 15:30～16:30
 座長：紀平 正道(三重県産婦人科医会会長)
 野村 豊樹(三重県小児科医会会長)
 (1)「子育てと子育て支援」
 金井 剛(三重県立子ども心身発達医療センター長)
 (2)「虐待を受けた子どものこころ」
 田中 究(兵庫県立ひょうごこころの医療センター院長)
 (3)「今日子ども家庭と社会的養育の現状と課題」
 加賀美 尤祥(社会福祉法人山梨立正光生園理事長)
5. 総合討論 16:30～16:55
6. 閉 会 16:55～17:00
 田淵 義久(SBI子ども希望財団理事長)

参加ご希望の方は、この申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。

はがき・Eメールによる
 申込みも受け付けております。

はがき・Eメールには必ず 1.郵便番号 2.住所 3.氏名
 4.電話・FAX 番号を忘れずにご記入の上、お送りください。

申込締切：令和元年12月6日(金)必着

※定員になり次第、締め切らせていただきます。※参加確定者の発表は
 参加票の発送をもって代えさせていただきます。(11月下旬頃から順次)
 ※フォーラム当日は、参加票を忘れずにお持ちください。

郵 送 〒514-8538 三重県津市桜橋二丁目191番4
 三重県医師会

FAX **059-225-7801**

E-mail forum@mie.med.or.jp

HP <http://www.mie.med.or.jp>

お問い合わせ/059-228-3822(三重県医師会)

〔単位取得予定(シンポジウムのみ対象)〕 日本専門医機構産婦人科領域講習1単位、日本専門医機構学術業績・診療以外の活動実績(学術集会参加)1単位、
 日本産婦人科学会専門医研修会10単位、日本産婦人科医会認定研修会、日本専門医機構小児科領域講習1単位

参加申込書

子育て支援フォーラム in 三重

子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

(令和元年12月14日(土)開催)

住所	〒 -	託児施設のご利用	有・無
		託児人数	／ 託児年齢
氏名	電話番号	-	-
	FAX	-	-
住所	〒 -	託児施設のご利用	有・無
		託児人数	／ 託児年齢
氏名	電話番号	-	-
	FAX	-	-
		男児	人 / 才 ヶ月
		女児	人 / 才 ヶ月

※ボールペンでご記入ください。※参加希望者の個人情報、第三者に提供することはありません。※電話番号は常時連絡可能な番号を記載ください。
 ※3名以上の参加ご希望の方は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

↓ FAX送信 **059-225-7801** ↓